

平成31年岩見沢市議会第1回定例会 市政方針及び教育行政方針に対する代表質問発言通告

1. 市民クラブ 大坂龍起議員(所要時間50分)

- 1 市政方針及び第6期総合計画に関連した岩見沢のまちづくりについて
 - (1) 岩見沢駅を含む中心部のまちづくりについて
 - (2) 駒澤大学附属岩見沢高等学校跡地について
 - (3) 岩見沢市の人口減対策及び人口増対策について
 - (4) 環境行政について
 - (5) 水道事業について
- 2 岩見沢市の教育行政の推進について
 - (1) 「子どもが主人公になる岩見沢の教育づくり」の推進について
 - (2) 岩見沢市立小・中学校の適正配置について
 - (3) 教職員の長時間勤務実態の是正について

2. 政和会 谷口洋一議員(所要時間60分)

- 1 地方活性化対策について
 - (1) 地方と国が進めている活性化対策について
 - ① 地方が進めている活性化対策と国が意図する活性化対策の方向性にギャップがあると考え。国に対する率直な実感について伺う
 - ② 地方6団体の国に対する提言等の情報を伺う
- 2 市民参画市政について
 - (1) 市民参画市政のさらなる推進について
多様化する市民ニーズに対応するため、これからは、行政と市民の協働体制の強化が必要。市民の意識改革を進める中でこれからの市民参画市政の視点について伺う
- 3 財政問題について
 - (1) 事業目的別予算のさらなる充実について
厳しい財政状況の打開策として、事業目的別予算の目的の柱であるスクラップ・アンド・ビルドの一体化の強化が必要。今後の考え方を伺う
- 4 ふるさと納税について
 - (1) ふるさと納税の目的である地方活性化対策の推進について
まちづくりの視点からふるさと納税の充実を図るための課題について伺う

5 行政改革について

(1) 行政改革の推進について

人口減少、財政状況の悪化等、行政、市民を取り巻く環境の変化に対応するこれからの行政改革の視点について伺う

6 福祉政策について

(1) 地域福祉政策の推進について

地域福祉計画を実践面で地域に根差したものにするため、各種組織、団体との連携が大切。その連携の具体化と支援体制づくりの進め方を伺う

7 TPPについて

(1) TPP発効に伴う農業対策について

TPP発効による農産物品に対する影響が大きい。そのために支援策等の確立が大切。北海道農業としての対策と岩見沢農業のあり方について伺う

8 都市計画マスタープランについて

(1) 「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりについて

全国的に都市の少子化、高齢化、社会資本の急速な老朽化の対応の中で、都市づくりにおける「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりに対する考え方を伺う

(2) 災害に強いまちづくりについて

災害に強いまちづくりにおいて、道路の無電柱化に対する今後の取り組む方向性について伺う

9 教育行政について

(1) これからの教育行政の推進について

創意工夫による新しい視点の教育が大切。特徴ある岩見沢教育の推進について伺う

3. 日本共産党議員団 上田久司議員 (所要時間50分)

1 市民のいのちと暮らしを守るために国への働きかけを

(1) 消費税10%への増税反対の取り組みを

- ① 消費税10%が市民や地域経済に与える影響は
- ② 市の予算への影響はどのくらいか
- ③ 市として増税反対を明確にして、国に対して働きかけを

(2) 憲法9条を守らせる取り組みを

- ① 自衛官募集の対応について
- ② 憲法改悪をやめさせ、憲法9条を守る取り組みについて

2 安全安心なまちづくり等について

(1) 防災対策について

① 情報の発信について

(2) 除排雪の充実について

① 排雪路線の充実と、夜中の除雪の改善について

② 朝方に降った雪の除雪と、暖気によってザクザクとなった雪の除雪について

③ 置き雪対策について

④ バス停の除雪について

(3) 男女共同参画について

① DV対策について

② LGBT対策について

③ 男女共同参画への男性の理解について

3 みんなが元気で暮らせるまちづくりについて

(1) 高齢者福祉施設について

① 低額で入所できる高齢者福祉施設を

(2) 国民健康保険料の引き下げについて

① 国民健康保険加入者の滞納世帯等について

② 国民健康保険加入者の構成について

③ 1兆円の公費負担増の国への働きかけについて

④ 均等割、平等割の廃止による負担軽減を

⑤ 協会けんぽ加入者との保険料の差についての考え

(3) 福祉3事業（高齢者バス券助成、身体障害者年金、米寿祝金）の復活を

① 市民は復活を切実に願っている。これに応えるべきでは

4 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまちづくりについて

(1) 農業・農村を守る取り組みについて

① 農家戸数の減少で、農村地域が崩壊していくことへの対応について

② 農家戸数をふやす取り組みについて

③ スマート農業について

(2) 若者の雇用など、若者の住みやすいまちづくりについて

① 若者の雇用確保について

② 若者に魅力あるまちづくりについて

(3) 中心市街地の活性化について

① この間の取り組みの成果について

② 今後の取り組みについて

- 5 自然と調和した 快適で暮らしやすいまちづくりについて
 - (1) 公共交通の改善について
 - ① 市内循環バスの見通しは
 - ② 農村地域からも高齢者福祉センターなどへ行けるバスなどを
- 6 市民とともに創る 持続可能で自立したまちづくりについて
 - (1) 公共施設の適正配置について
 - ① 削減ありきとならないように、施設の必要性については市民としっかり話し合うこと
 - ② 具体的スケジュールと方向性について
- 7 「豊かな心と生きる力をはぐくむまちづくり」「女性と子育てに日本で一番快適なまち」の取り組みについて
 - (1) 子どもの貧困調査について
 - ① 市としての実態調査を行い、今後の対策の参考にすべき
 - (2) 乳幼児医療費助成拡大について
 - ① 通院の医療費無料化を中学校卒業までに
 - (3) 保育料の無料化について
 - ① 国の無料化との関係でどうなるか
 - (4) 学校給食費の無料化、助成について
 - ① 段階的にでも無料化や助成を目指すべきでは
 - (5) 就学援助の拡大について
 - ① 生活保護削減に伴う対応について
 - ② 生活保護基準の1.25倍の基準の緩和を
 - ③ クラブ活動費の適用を
 - ④ 国が新年度新たに対象としたものの対応について
- 8 学校教育について
 - (1) いじめ対策について
 - ① 現状の取り組みと今後の取り組みについて
 - (2) 小中学校の適正配置について
 - ① 小規模校のメリットを大いに生かした取り組みを
 - ② 多くの保護者や市民との十分な協議を

4. 公明党 酒井和子議員(所要時間50分)

- 1 これからの都市のあり方について
 - (1) これからの都市のあり方と人口減少時代に生き残る都市の条件の考え方について
 - ① これからの都市のあり方をどのように捉え、人口減少時代に生き残る都市の条件についての考え方を問う
- 2 「地域で支え合う 安全・安心なまちづくり」について
 - (1) 防災対策について
 - ① 特に冬期間の災害を想定して、市民は半年前の地震からどのような準備をして、どう行動したかアンケートを実施しては
 - ② 予測不可能な昨今の災害について、市長のお考えは
- 3 「みんなが健康で元気に暮らせるまちづくり」について
 - (1) 「人もまちも元気で健康」のテーマをいかに浸透させていくのか
 - (2) 風疹の感染拡大防止に向けた取り組みについて
- 4 「豊かな心と生きる力をはぐくむまちづくり」について
 - (1) 放課後児童クラブ(学童保育)について
 - ① 放課後児童クラブ(学童保育)の状況について
 - ② 放課後児童支援員の基準緩和について
- 5 「自然と調和した 快適で暮らしやすいまちづくり」について
 - (1) 環境行政の推進について
 - ① 太陽光発電の“2040年問題”について
- 6 「市民とともに創る 持続可能な自立したまちづくり」について
 - (1) 広報の充実について
 - ① 広報の意義、今後どのように展開していくべきか
- 7 教育行政について
 - (1) 児童虐待防止対策について
 - ① 私たち市民としてどう考え、取り組むべきか、今、何が必要か議論すべきでは
 - ② 当市における児童虐待の現状は
 - ③ 児童虐待から子どもの命を守るために、今、何が必要なのか

平成31年岩見沢市議会第1回定例会 一般質問及び大綱質疑発言通告

1. 山田靖廣議員(所要時間30分)

1 環境問題について

(1) 海洋プラスチック問題について

海洋プラスチック問題の認識について

(2) 海洋プラスチック問題の対応について

① プラスチック製容器包装及びペットボトルの排出量について

② 市民への分別の周知について

③ 海洋プラスチック問題の周知について

2 生活道路の安全確保と排雪について

(1) 地域自主排雪支援制度について

① 制度利用への市のかかわりについて

② 制度利用の実績について

③ 今後の制度の普及について

3 教員の働き方改革について

(1) 教員の働き方と休職の関係について

① 時間外勤務の上限規制について

② 時間外勤務の把握と削減対策について

③ 休職の実態について

(2) 変形労働時間制について

変形労働時間制の認識について